

【4】雲南市立吉田中学校

4-1 学校の沿革・概要

所在地	雲南市吉田町吉田 1080-4
校長	勝部 由紀夫
生徒数	1年=8、2年=12、3年=11 計 31名

昭和22年 吉田村立吉田中学校開校（吉田小学校教室を借りて授業）

田井村立田井中学校開校（田井小学校教室を借りて授業）

昭和29年 吉田村、田井村合併。新吉田村発足

平成元年 「緑の少年団」結成

平成8年 吉田村立吉田中学校・田井中学校閉校

新生吉田中学校開校式

平成10年 島根県緑の少年団活動発表大会最優秀賞

平成11年 全国緑の少年団活動発表大会出場（貝塚市）みどりの奨励賞受賞

平成16年 町村合併により「雲南市立吉田中学校」に改称

平成19年 島根県緑の少年団活動発表大会最優秀賞

平成20年 全国緑の少年団活動発表大会出場（福島県）

第32回全国育樹祭参加（愛媛県）

吉田町は県の東南部に位置し、南は飯南町、広島県（庄原市高野町）、北は三刀屋町、木次町、東は奥出雲町、西は掛合町に接している。大万木山をはじめとする山々に囲まれた山間地に位置し、冬の気象は厳しいが、四季折々の大自然の美しさを楽しむことができる。昭和29年11月、旧吉田村・旧田井村が合併して吉田村が誕生し、その後、平成16年11月には、市町村合併により、新しく雲南市吉田町となった。

吉田町（旧吉田村）は、古くから「たたら製鉄」によって栄えた歴史をもつ地域である。吉田地区にある田部家は、松平藩の鉄師として日本一の鉄山経営を行っていたため、地区の人々も、昔は「たたら製鉄」に関わりをもつ生活を送ってきた。しかし、大正末期には、洋式高炉による製鉄に押され生産は停止した。

昭和61年「鉄の歴史村宣言」を行い、以後、鉄の未来科学館、鉄の歴史博物館、菅谷たたら山内など鉄に関わる施設の整備を始め、田部家土蔵群付近街並みの整備、グリーンシャワーの森を中心とする施設の整備等、新たな村づくりが意欲的に進められ、現在も観光資源の一つとして活用されている。

4-2 学校林の現地調査

所在地 雲南市吉田町吉田3634-1

面積	林種	樹種	歩合	林齢	樹高	標高
2.78ha	人工	スギ・ヒノキ	40:60	36	約 17m	約 400m



図 1 吉田中学校学校林概略図

吉田中学校の学校林は平成元年に「緑の少年団」が結成される前の昭和56年に植栽された人工林であり、毎年下草刈りなどの体験作業を行ってきた。平成20年頃から間伐作業を行うようになり、年1回ではあるが半日をかけて作業を行う全校行事となっている。

敷地内はスギ・ヒノキで構成され、一部低木層のクロモジ、ヒサカキなどが見られるが、おおむね林床に下草は繁茂していない。しかし、植栽から34年が経ち、適切な枝打ちや間伐を行っていなかったためか、やや密で薄暗い林内となっている。さらに、隣接する雑木林も遷移途中の木々が繁茂しているため圧迫感がある。

昨年度、間伐作業をより安全に行うための作業道が尾根伝いに造成され、中央部の広い谷を囲むように一周できるようになっている。

4-3 学校林活動の調査

聞き取り相手	教諭 中林 英昭
カリキュラム	総合的な学習の時間
対象学年	全学年
利用方法	下草刈り、森林学習、間伐体験
利用頻度	年3回
外部講師・委託先	東部農林振興センター、飯石森林組合雲南事務所、雲南市役所産業振興部農林振興課、吉田総合センター事業管理課、民谷地区振興協議会
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植樹をしたいが、木々が密集しているため育たない ・ 急傾斜が多く間伐作業が危険 ・ 現在のところ間伐したあとの木の使い道がない

今後取り組んでいきたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 間伐→植樹→人が入っていける森づくり ・ 間伐した木でバイオマス燃料への活用など
---------------	---

吉田中学校が行っている「森林学習・学校林整備及び間伐体験学習」は、3年間とおして行っており、1年生は森林の基礎を学ぶ森林学習、2年生・3年生は下草刈りを行い、例年11月に全校生徒で間伐体験を行なっている。間伐体験の際は森林組合などプロの方々の枝打ちや間伐の様子を見るほか、実際に現場で使われている専門の機器を使用して自分でも間伐体験をするので、生徒にとっては貴重な体験になっていると思われる。

間伐体験の様子は雲南市のフェイスブックや農林振興センターのブログ、学校の広報誌などを通じて地域のみならずインターネット媒体で広く情報発信している。

平成25年まで学校独自の取り組みであったが、平成26年には「緑の募金公募事業」で実施し、この事業費で林道整備を行い、より安全で効率的な間伐作業を行うことができた。学校林の敷地内は生徒が間伐作業を行うには危険な急傾斜地が多いため、今後こうした斜面の間伐は「みーもの森づくり事業」で外部委託して行う予定である。

4年前に生徒による植樹も行ったが、日が当たらず育たないまま消滅してしまったので、まずは適切な間伐を行い、生徒の手によって森づくりをしてもらいたいと考えている。そのためには専門の業者をお願いすることになるので、今後も事業費を活用して行っていきたいと考えている。

添付資料 4



写真 4-1
間伐体験 1 (平成26年11月14日)



写真 4-2
間伐体験 2 (平成26年11月14日)



写真 4-3
間伐体験 3 (平成26年11月14日)



写真 4-4
学校林外観（平成27年5月21日）



写真 4-5
学校林内観（平成27年5月21日）

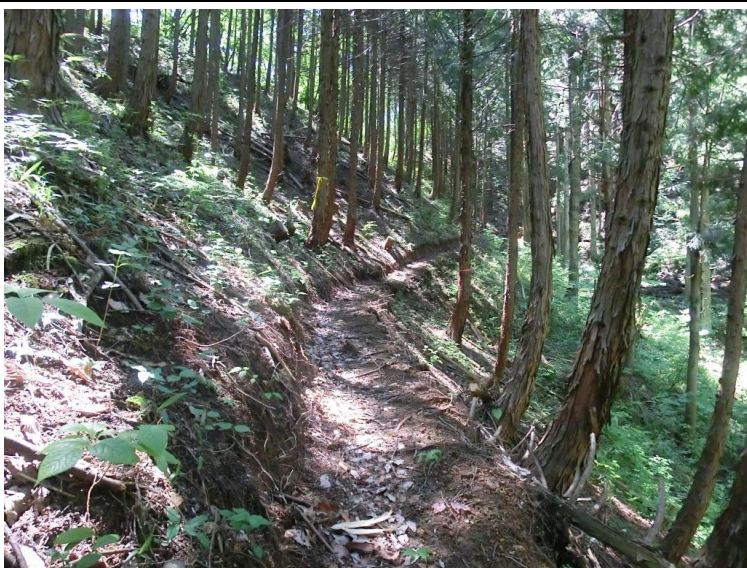


写真 4-6
新設した作業道（平成27年5月21日）